

2 種類別明細書（増加資産・全資産用）

- ◎ 資産の所在する区ごとに作成してください。
- ◎ この明細書は感圧式の2枚複写となっています。
1枚目（提出用）を提出し、2枚目（控用）は申告者が保管してください。
- ◎ 明細書は大阪市ホームページからダウンロードできます。
- ◎ 次のア～ケについては、必須項目ですので、必ず記載してください。

大阪市 償却資産申告書

検索

資産の所在する区（ア）に作成してください。

令和3年度（イ）北（ウ）区分

所有者コード ※ 123-456789-06

種類別明細書（増加資産・全資産用）

所有者名 中之島フーズ株式会社 枚数 1枚目

資産の種類 行番号	資産コード	資産の名称 工	数量	取得年月 オ		取得価額 カ	耐用年数 キ	減価償却率	価額	課税標準の特例 率	課税標準 コード	増加事由 ク	摘要 コ
				年	月								
01	1	広告塔（金属造）	1	5	2	5	20	0.0				1・2 3・4	
02	1	給排水工事	1	5	2	5	15	0.0				1・2 3・4	
03	1	内装工事	1	5	2	5	18	0.0				1・2 3・4	
04	2	食器洗浄機	1	5	2	10	16	0.0				1・2 3・4	令和2年6月 京橋店より
05	6	乾熱滅菌器	2	5	2	5	5	0.0				1・2 3・4	
06	6	P O Sレジシステム	1	5	2	5	5	0.0				1・2 3・4	
07	6	温冷ケース	1	5	2	4	6	0.0				1・2 3・4	
08	6	冷凍ケース	1	5	2	5	6	0.0				1・2 3・4	
09	6	業務用レンジ	1	5	2	5	6	0.0				1・2 3・4	
10	6	パソコン	1	5	2	5	4	0.0				1・2 3・4	
20		小計	11			16,391,000							

注意：「増加事由」・・・1 新品取得 2 中古品取得 3 移動による受入れ 4 その他 のいずれかに○印を付けてください。
「年号」・・・3 昭和 4 平成 5 令和 を表しています。「5」以外の場合は「5」を2本線で抹消のうえ訂正してください。

ア 令和〇年度（ 区分）

申告年度の「3」を記載し、資産の所在する区名を記載してください。

イ 所有者コード

申告書と同じコードを記載してください。（P 11 参照）

ウ 資産の種類

各資産に対応するコード（数字）を記載してください。

構築物-1、機械及び装置-2、船舶-3、航空機-4、車両及び運搬具-5、工具、器具及び備品-6

なお、資産の種類によって明細書の用紙をかえる必要はありません。

エ 資産の名称等、数量

資産の名称、規格等と数量を記載してください。

オ 取得年月

取得した年月を和暦で記載してください。年号欄の「5」は令和を表しています。取得年が平成の場合は、「5」を2本線で抹消のうえ、年号欄を「4」に訂正してください。

また、振替等による企業内異動の場合は、原始の取得年月を記載してください。

カ 取得価額

当該資産の取得価額を記載してください。（取得価額は運賃・手数料・据付費等を含みます。）

また、法人税法または所得税法による圧縮記帳を行った資産については、これを行わなかったものとした取得価額を記載してください。

なお、消費税については、法人税および所得税において税込経理方式を採用していれば税込みとなり、税抜経理方式を採用していれば税抜きとなります。

キ 耐用年数

「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」による耐用年数を記載してください。

ただし、法人税法または所得税法の規定により、国税局長の承認を受けて、耐用年数の短縮を行っている場合は、その耐用年数を記載してください。

また、中古資産を取得した場合で、減価償却資産の耐用年数等に関する省令第3条第1・2項の規定による耐用年数（見積耐用年数）によるものは、その耐用年数を記載してください。

ク 増加事由

用紙下方の注意書きを参考に該当する番号を○で囲んでください。

ケ ○〇枚のうち、△△枚目

この明細書の総頁数とそのうち何枚目であるかを記載してください。大阪市では、「申告年度」、「△△枚目」、「行番号」を電算処理のための基本事項としておりますので、用紙を追加された場合は重複しないようご注意ください。

コ 摘要

異動について、特記することがあれば記載してください。